

礼拝プログラム ※主の導きにより変わる事があります

- 黙祷 御言葉に耳を傾け、心を主に向けましょう。
- *賛美 330番
- *交読文 20番
- *使徒信条 会衆一同
- *頌栄 174番
- 礼拝のための祈り 川合ゆきえ姉妹
- 賛美 340番
- 聖餐式 賛美281番
- メッセージ 栄光の家系の女達 - ラハブ3
救いと滅びを永遠に分ける日(ヨシュア記6:15-25)

- 御言葉を適用する祈り .. 会衆一同
- 賛美 326番
- 献金感謝の祈り パスター
- 報告と歓迎
- *主の祈り 会衆一同
- *祝祷 パスター

祈禱課題

- この教会が神の御声を聞いて御心を行う教会となるように
- 病、貧しさ、悲しみの内にある兄弟姉妹のために
- 兄弟姉妹達がキリストの香りを豊かに世に放ち、仕事、事業が祝福されるように
- 主に忠実で御霊に満ちた奉仕者が70名与えられるように
- 終末の災いに実際に直面している兄弟姉妹の守りのために

祝福の御言葉(下線にご自身のお名前を入れて宣言して下さい)

彼を受け入れた者、すなわち、その名を信じた_____には、彼は神の子となる力を与えたのである。それらの人は、血すじによらず、肉の欲によらず、また、人の欲にもよらず、ただ神によって生れたのである。(ヨハネ 1:12-13)

「先生がた、_____は救われるために、何をすべきでしょうか」。ふたりが言った、「主イエスを信じなさい。そうしたら、_____も_____の家族も救われます」(使徒 16:30-31) イエスは_____に言われた、「この水を飲む者はだれでも、またかわく。しかし、わたしが与える水を飲む者は、いつまでも、かわくことがないばかりか、わたしが与える水は、その人のうちで泉となり、永遠の命に至る水が、わきあがる」。(ヨハネ 4:13-14)

ラハブは元々「遊女」だったが、同時に王族の女として、イエスの母の一人として、聖書は記している。救いはただ、**イエス**(ユダヤ名「**イエシュア**」=**ヨシュア**＝「**神は救い**」という意味)を、救い主とする事による。イエス様を救い主とするなら、以前がいかにも罪深く汚れていても、例外なく救われ、王族に加えられるのだ。そして実際に救われるには、神の側から示された条件を「**聞き**」、それを実際に「**行う**」必要がある。ラハブは、聞かされた事をすぐに「行い」、いつ来るとも知れぬ「かの日」が来るのを待った。「**かの日**」とは、**赤い印のある人には救いの日、印の無い人には滅びの日**で、その日がいつかは、**神のみが知っている**。聞いた御言葉を信仰によって自分自身に結び付けず、いつまでも救いの行動を先延ばしにしたままにして、「かの日」を迎えてしまうのであれば、その人の永遠は、「滅び」として確定してしまう。私達も、救いの御言葉を聞いた時、ラハブのように、すぐに信仰によって結び付けるなら、幸いである。

イエシュアの軍団は六日間、エリコの周りを回った。彼らに先立って進むのは契約の箱であり、その中には主の約束の御言葉が入っている。民も、契約の箱も、ものを言わない。ただ角笛の音だけが響いていた。対してエリコは、神の軍が間近に迫っても頑なに城門を閉ざし、五日、六日と過ぎても行いを改めなかった。そしていよいよ、エリコに「**かの日**」が来た。

イエシュアの軍団がエリコの城壁を回って第七の日、契約の箱は七度回り、その七度目に、祭司たちが角笛を吹いた時、イエシュアは民に言った。「**関(とき)の声をあげよ**。主はあなたたちにこの町を与えられた。・・・ただし、**遊女ラハブおよび彼女と一緒に家の中にいる者は皆、生かしておきなさい**。我々が遣わした”使い”をかくまってくれたからである。」(6:16-17)

その時、窓に赤い印を結びつけて息を潜めていたラハブは、イエシュアの軍団の角笛と関の声を聞いた。自分達のいる回りの城壁が、大音響を立てながら崩れ落ちたが、彼女達がいた一角だけは崩れなかった。イエシュアの軍団が、剣を手に攻め寄せて来るのが、赤い印をつけたその窓から見えたが、しかし彼らは、自分達のいる家には手出しせず、その周りは全て攻め滅ぼした。そして、彼女がかつてかくまった、あの二人の使いが来た。今度は、彼らが彼女たちをかくまう番となり、赤い印をつけた家の人全員を連れ出し、安全な所へと導いた。そしてエリコは滅ぼし尽くされ、赤い印の内でもかくまわれていた人達は、滅びの向こう側へと渡り行き、遊女だったラハブは、栄光の家系に入った。

全世界にとっての「**かの日**」は来ようとしており、その日、エリコに起きた事と同じ事が起きる。今、約束の御言葉の実現は、静かに近づき、その音づれを世界中は聞いている。そして人々は、それでも心を頑なににして自分の行いを悔い改めようとしない人達と、悔い改めて主イエス(イエシュア)に立ち返り、その憐れみにすがって救いの印を受ける人々と、分かれている。七人の御使いが、七つのラッパを吹き鳴らす度に、災いが降り、第七の御使いがラッパを吹き鳴らす時、人類が積み上げてきた全ての営みは崩壊し、全てが私達の主イエシュアのものとなる。(黙示 11:15) その日、人類が築き上げて来た全ての「城壁」は崩れ落ち、頑なに悔い改めなかった人達は、イエシュアの軍団に滅ぼされ、イエス様の赤い血にかくまわれていた人達、神の印を押されていた人達には、かつて彼らがもてなした御使いが迎えに来て、安全に天の御国へと導き、永遠の栄光の救いに入る。

イエス様が十字架上で流された赤い血潮、それが私達の救いのしるしである。イエス様が十字架上で私達の身代わりとなって死に、私達を救って下さったという事を、**信仰によって私達自身に結びつけ、そうして救いの印を私達につけるなら、私達も救われるのだ**。ラハブは、救いの条件は「**赤い印を、自分の所に結びつける事**」であると聞いて、それをすぐに行ったように、私達も今すぐにも、イエス様を救い主として、救いを得るべきである。救いの行動を先延ばしにしたりせず、聞いた御言葉をラハブのようにすぐに信仰によって結び付け、「かの日」には救いのしるしを掲げつつ迎え、滅びが決して届く事なく「救い」を永遠に確定する皆さんでありますように！イエス様のお名前によって祝福します！

横浜天声キリスト教会 礼拝 週報

集会案内

各礼拝はインターネットでライブ中継しております → <http://ustre.am/Ydeh> (Yは大文字)

日曜礼拝

- 1部礼拝(韓国語中国語通訳有) 10:30
- 食事/フェローシップ 12:00～
- 2部礼拝 14:00
- 聖書の学び会(箴言) 15:00

金曜徹夜祈禱会 21:00～

日々の集会

- 月～金 早天祈禱会 5:00～
- 火・木・金 賛美と祈りの集会 13:00～
- 火～木 夜の祈禱会 19:30～

水曜集会

- 1部 13:00～
- 2部 19:30～

アクセス

横浜市営地下鉄・伊勢佐木長者町駅
6番B出口を出てまっすぐ徒歩5分
JR・関内駅より徒歩10分
京急線・日ノ出町駅より徒歩10分

関内駅から伸びる大通公園沿い、
伊勢佐木警察署の向かい対角線上にあり、
1Fがファミリーマートになっております。



聖書メッセージを携帯で
聖書メッセージをメールで
毎日携帯にお届けします。
左記コードを読み込み、
空メールを送信するだけ！



〒231-0058

パスター: 林和也

神奈川県横浜市中区弥生町2-17 ストックタワー大通公園 I -201

TEL/FAX: 045-326-6211

Homepage: <http://voh.plala.jp/>

email: ephes_03-tensei@yahoo.co.jp



モバイルサイト

